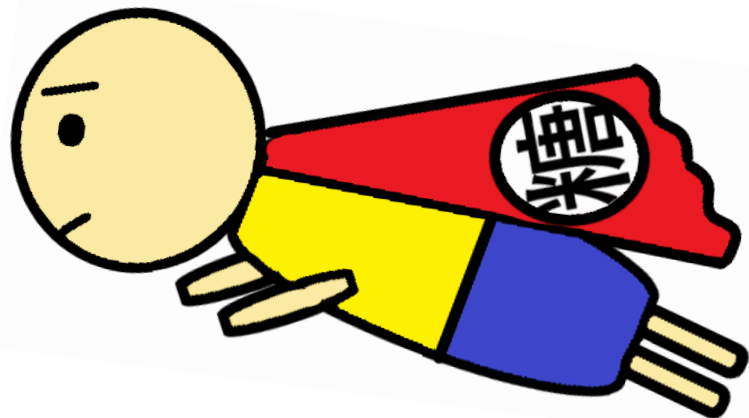


検査説明パンフレット 糖尿病の検査



糖尿病とは？

血液中の糖分を調節する役割を持つのが「インスリン」という物質です。インスリンが分泌されなくなったり、十分に働かなくなったりするのが『糖尿病』です。2016 年、日本における糖尿病が強く疑われる患者数は推計 1 千万人に上っています。



糖尿病の種類

1 型糖尿病

はっきりとした原因はわかりませんが、主に子供の頃に発症することが多いです。膵臓からインスリンが全く作れなくなるため、血糖値が高くなってしまいます。注射でインスリンを補う治療が必須となります。

2 型糖尿病

遺伝・年齢・肥満・生活習慣（食事や運動不足）などが原因です。日本での糖尿病の 95% 以上はこのタイプです。インスリンが出にくくなったり、インスリンが効きにくくなったりすることによって、血糖値が高くなります。

他の病気や薬剤によって引き起こされるもの

糖尿病以外の病気や、治療薬の影響で血糖値が上昇することがあります。

妊娠によって引き起こされるもの（妊娠糖尿病）

妊娠糖尿病とは、妊娠中に初めてわかった、まだ糖尿病には至っていない血糖の上昇をいいます。多くの場合、出産後に糖代謝は正常に戻りますが、妊娠糖尿病の経験がある人は、その後糖尿病になりやすいと言われています。

糖尿病の症状

血糖値の高い状態が続くと、次のような症状があらわれます。しかし、軽症の場合、自覚症状がみられないことが多く、発見が遅れることがあります。

*尿の量が多くなる
*体重が減る

*のどが渇いて、水分をたくさん飲む
*疲れやすくなる

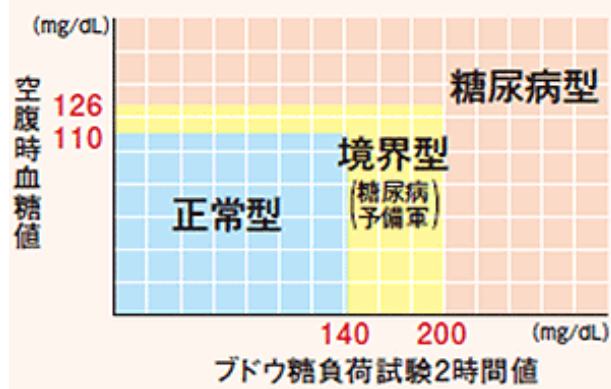
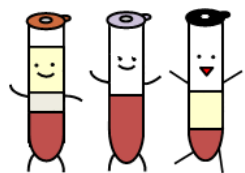


検査項目

【血液検査】

GLU（血糖） 基準値 73～109/mg/dL （空腹時）	血液中のブドウ糖を表します。炭水化物（ご飯、パン、うどんなどの主食）を食べると、吸収されてブドウ糖になります。ブドウ糖は身体を動かす大切なエネルギー源であり、数値は一日を通して変動しています。
HbA1c （ヘモグロビンA1c） 基準値 4.9～6.0%	採血時から過去1～2ヶ月間の平均血糖値を反映しており、糖尿病の診断だけでなく、血糖値のコントロール状態を把握するための最も重要な指標となります。
GA（グリコアルブミン） 基準値 11.0～16.0%	採血時から過去2週間の平均血糖値を反映しています。
75グラム経口ブドウ糖負荷試験	10時間以上の空腹状態で、血液検査（採血）を行った後、75gのブドウ糖が入ったソーダ水を飲み、しばらくした後で再度採血を行います。ソーダ水を飲む前と飲んだ後の血糖値を調べます。糖尿病の診断に用いられる検査です。

空腹時の血糖値と75グラム経口ブドウ糖負荷試験の検査結果により、正常型・境界型・糖尿病型の3つに分類することが出来ます。



(2010年日本糖尿病学会)

【尿検査】

尿糖 基準値：陰性	通常、血糖値が160から180mg/dLまで高くなると、尿の中に糖がでてきます。
尿中ケトン体 基準値：陰性	糖尿病になると、エネルギーとしてブドウ糖を十分に利用できないかわりに、体の中の脂肪を利用します。ケトン体は、脂肪をエネルギーに変えるときにできる燃えカスです。通常は、筋肉や腎臓で再利用されますが、血液中で増えすぎると尿の中に排泄されます。

糖尿病の合併症

血糖値が高い状態が続くと体のいろいろな部分に障害が出てきます。この障害を「合併症」といいます。

